

IV 平成 28 年度(2016 年度) 事業計画(案)

1. 事業実施の方針

モンゴル国において、人づくり(エコ教室開催など)、森づくり、苗畑づくり、緑あふれるまちづくり 農場づくりなどの事業を行い、また日本においては、NGO 合同研究会を開催し、スタディーツアーを実施することにより、サステイナブルな地域づくり、国づくりを目指している。

2. 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施 予定 日時	実施 予定 場所	従事者 の予定 人数	受益対象 者の範囲 及び予定 人数	支出見込 み額 (円)
モンゴルエコ ツアー事業	2015 年に引き続きモンゴルスタディーツアー “エコ教育と森づくりを学ぶ旅”を HIS と 共催で実施予定 ①第 14 回エコ教室 ウランバートル (モンゴル国立大学エコロジー教育セン ター) ②トーラ村住民との交流(GNC 教育セン ター) ③バヤンチャンドマン苗畑視察 ④セレンゲ県 植林地視察 第 7 幼稚園視察&絵本贈呈 &記念植樹 ⑤ウランバートル市内 第 18 学校 第 42 幼稚園訪問 ⑥農場見学	9 月	モン ゴル	10 人	150 人	600,000
森林再生事 業	①植林実施 <u>セレンゲ県</u> ・愛・地球博「日・モ友好の森」 ・「GNC 共存の森」 ・トライウォール「エコフィン生命の森」づ くり協力 <u>中央県</u> ・「GNC 共存の森」 ②各植林地交渉 調査実施 5 月、9 月 ③企業・団体への植林実施報告作成	4 月 ～ 10 月	モン ゴル	5 人	不特定 多数	1728000 中央県に 関しては Mongola 予算
林野火災対 策モデル事 業	セレンゲ県 林野火災による被害を最小限に抑える インフラ(防火帯造成)	4 月 ～ 9 月	モン ゴル	5 人	不特定 多数	100,000
学校緑化 & 公園づくり事	①モンゴル国立大学エコロジー教育セ ンター内植物園施設の継続管理、体験	4 月 ～	モン ゴル	50 人	不特定 多数	150,000

業	コーナー 原生植物などの充実に協力 ②第42、第7幼稚園での緑化・幼児環境教育への協力)	9月				
バヤンチャンドマン苗畑事業	①森林再生のためのアカマツの苗栽培 ②その他需要のある苗木栽培し販売拡大して現地での苗畑事業費の確保を目指していく	年間	モンゴル	4名	不特定多数	Mongolia 予算
モデル農場 トーラ村緑化事業	①日光温室の試作&栽培スタート(一部バヤンチャンドマン苗畑でも試作) ②トーラ村緑化事業継続(住民との交流を深めていく)	4月 ~ 11月	モンゴル	10人	不特定多数	400,000
GNC 教育センター事業	①(幼稚園児および保護者たちのジャガイモ栽培&収穫体験実施 ②GNC 教育センターを拠点とした講演会、エコ体験など随時開催していく					
研究事業	①第14回 NGO 合同研究&活動報告会 6月12日開催予定 ②テーマサロン随時開催 ③必要に応じ研修イベントに参加	通年	日本	5人	20人	20,000
イベント参加事業	①ハワリンバヤル 2016 出展 4/30 5/1 ②グローバルフェス 2016 出展 10月 ③エコプロダクツ 2015 出展 2/8-12/10	通年	日本	7名	不特定多数	210,000

3. 各部署活動計画案

事務局

①助成金関連業務

- ・JIFPRO 緑の募金国際緑化公募事業(継続) 報告
- ・国土緑化推進機構緑の募金中央事業申請(継続) 報告
- ・新たな助成金の開拓

②第21回 GNC 通常総会開催 2016年4月17日:桜上水オフィス

③法人関連報告書提出 訂正書類提出 法人銀行口座新設

④2015年に引き続き 新ガイドラインに沿って寄付の拡大を目指す

⑤チラシ改訂版作成

広報・イベント部

①ホームページ改良 メンテナンス

②情報発信の強化

- ・スタッフブログの充実 facebook ツイッター活用(ホームページの活性)
- ・GNC Mongolia モンゴルからのホットニュースの充実

③ツアー募集&ツアー参加者との関係をより強化していく

- ・春のハワリンバヤルでツアーチラシの配布
- ・ツアー説明会に 前年ツアー参加者に参加してもらい 体験談などを紹介してもらう

・ツアー参加者同士の親睦会のようなものを積極的に開催し GNC との関係を現状よりできるだけ継続していくようにしていく

④イベント用販売グッズとして

・シングルマザーの会へのオリジナルフェルト製品制作依頼していく

⑤GOOD THING プロジェクトの広報をより充実させ GNCへの寄付をさらに増やしていく